



令和7年1月21日

ホストタウン・ベトナムを訪問します

～市内企業等での更なる人材活用、観光による交流人口拡大、文化交流の促進へ～

本市は、東京 2020 五輪・パラリンピック時にベトナムのホストタウンとして認定され、同国の文化を体験できるイベントの開催や、外国人相談窓口と同国出身者をスタッフとして採用するなど、同国との絆を深めてきました。

人口減少が進行する中にもあっても持続的な地域活性化を図るため、ベトナムからの人材受入やインバウンドの拡大、文化交流の更なる深化を目指し、ベトナムの関係機関を訪問します。

記

1 訪問スケジュール（予定）

日付	訪問先等	内容
2/12（水）	【日本⇒ダナン】 在ダナン総領事館	チャーター便の拡大等による観光交流、文化交流の深化に関する意見交換
2/13（木）	【ハノイ】 ベトナム外務省、在ベトナム日本大使館等	人材の受入拡大や地方政府（自治体）との交流、ベトナム情勢に関する意見交換
2/14（金）	【ハノイ等】 日本政府観光局ハノイ事務所、 ベトナム地方政府（自治体）等	インバウンド増への取組み、地方政府（自治体）との交流に関する意見交換
2/15（土）	【ホーチミン】 ESUHAI（人材送出機関）	人材送出及び生活支援策の充実に関する意見交換
2/16（日）	（移動）	（帰国）

※訪問予定先 10 先（調整中含む）

2 訪問者

市長ほか市職員及び本市国際交流協会スタッフ 計5名

3 本市とベトナムの主な交流及び取組み

- （１）民間によるベトナム国内での医療支援
- （２）東京 2020 五輪パラリンピックでのホストタウン認定及びベトナム女子サッカー代表合宿の開催
- （３）「結・ゆい・フェスタ」等のイベントでのベトナム文化体験
- （４）外国人生活相談窓口（本庁 1 階）へのベトナム出身スタッフの配置
- （５）「日越外交関係樹立 50 周年記念 日越祝祭管弦楽団福島公演」の開催及び、同公演へのベトナム文化スポーツ観光省副大臣の来福

記者配布資料

4 本市在住の在留ベトナム人の傾向（令和6年11月末時点）

（1）居住者数

441人（参考：本市の在留外国人2,393人 占める割合：18.4%）

※平成26年11月末（10年前）は47人

（2）傾向

食品加工、製造業等に従事する技能実習生が約70%を占めており、技能実習生の増加に伴い居住者が増加。

5 本市の多文化共生社会実現に向けた主な取組み

（1）多文化共生センター「Yuiverse」の設置運営

①外国人の孤立を防ぎ、外国人同士や外国人と日本人の交流促進のため令和5年9月にMAXふくしま3階に開設。これまで1万4千人以上が来場。

②ベトナム料理教室をはじめ各国料理教室、文化体験、英会話講座等、週末を中心に年間80回以上のイベントを開催。

③外国人材活用のため、昨年8月に「求職サポート窓口」を開設。外国人が企業で働く際に必要なスキル（面接、履歴書の書き方、電話応対などのビジネスマナー）習得やハローワークへの同行訪問など、市内企業の人手不足解決に向けた伴走型支援を実施。

④外国人の日本語向上のため、日本語能力試験（JLPT）対策講座を実施。

⑤JICAと連携し、高校生を対象とした国際理解の人材育成を実施。

（2）企業向け「外国人材活用ファーストステップ相談窓口」の設置

企業に対し、外国人材の制度説明、専門機関の紹介及びセミナーの開催などを通じ、外国人材活用を促進。

（3）「結・ゆい・フェスタ」の開催

市内に居住する外国人コミュニティ、本市国際交流協会会員店及びキッチンカーによる各国グルメ提供、各国ダンス等のステージ発表、各国の文化体験ブースなど多文化共生イベントを年1回開催。昨年5月3日開催時は約1万人が来場。

（4）日本語教育の推進

県内初の公立夜間中学の開設、外国にルーツを持つ児童生徒への日本語教育及び地域ボランティアが開催する日本語教室など、日本語に接する機会を増やし習得向上の取組み。

（5）日本文化体験

わらじまつりへの参加、本市内の田んぼでの田植え体験、旧佐久間邸で浴衣を着用した花火体験及び秋の運動会等、本市や日本の文化を体験する場を提供。



担当：定住交流課

課長 近藤、係長 伊東 電話 024-525-3739（直通）

訪問の目的

下記の推進に向けた関係者協議と情勢視察

■人材の受入

市内企業へのベトナム人材の活用促進

■インバウンド強化

福島空港チャーター便就航を契機とした
ベトナムから本市への旅行客増加推進

■本市とベトナムの交流発展

ホストタウンとしての文化経済交流推進

訪問の概要

■ベトナム政府等関係機関訪問

人材受入、地方政府(自治体)との交流、文化経済の
関係深化等に向けた意見交換

■人材送出機関等訪問

人材受入に向けた意見交換

■日本政府関係機関、現地旅行会社等訪問

インバウンド増加等に向けた意見交換

■ベトナム情勢の視察

風土や気質の異なる北部、中部、南部の各都市
を訪問し、国柄や概況を調査

スケジュール（予定）

2025年2月12日（水）～2/15日（土）全10先

■ハノイ市 …… ベトナム外務省等

■ダナン市 …… 在ダナン総領事館

チャーター便発着

■ホーチミン市 …… 人材送出機関

■地方政府(自治体) …… 調整中

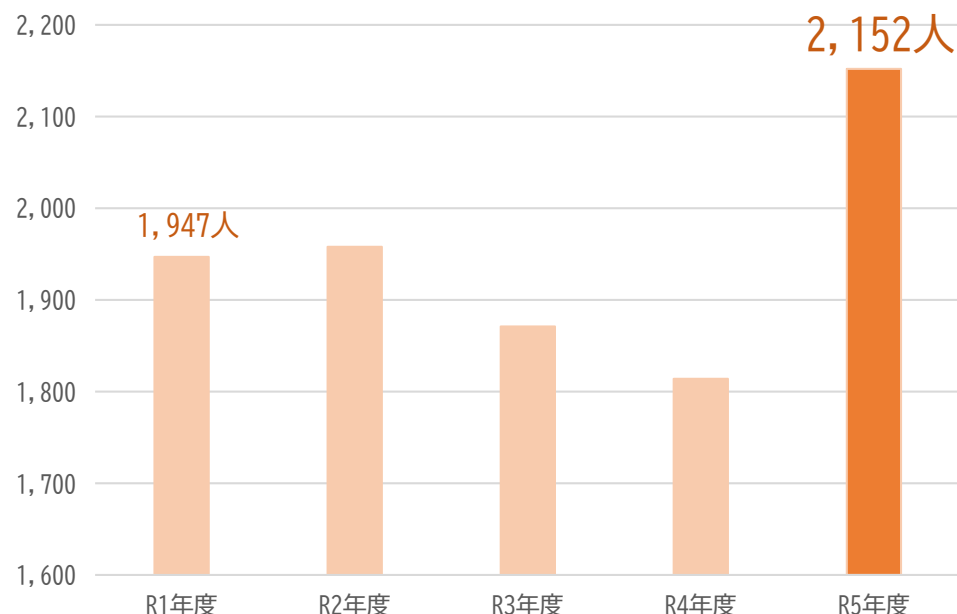


ベトナム訪問

本市在住ベトナム人の動向等について

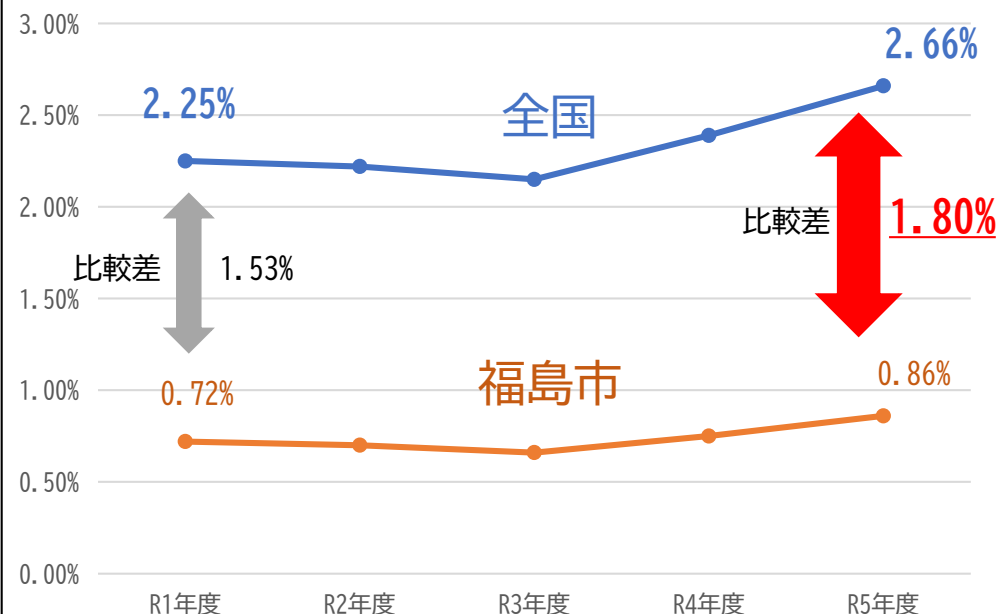
- 本市在住ベトナム人の人口： 441人(R6年11月末時点)、国籍別第2位、10年間で**約10倍増**
※外国人全体では2,393人
- 外国人就労者数は、コロナが5類に移行したR5年度から増加に転じ、製造業・小売業・建設業など幅広い分野で活躍【表1】
- 外国人就労者数増加の主な理由：技能実習生(在留ベトナム人の約70%を占める)の増加
- 外国人割合は増加傾向だが、福島市の割合は全国より低く、年々差が拡大【表2】

【表1】 福島公共職業安定所管内の外国人就労者数



出典：福島労働局「外国人雇用状況（各年10月末）」より作成
※福島公共職業安定所管内・・・福島市、伊達市、伊達郡

【表2】 人口に占める外国人の割合



出典：出入国在留管理庁「在留外国人数（各年12月末）」、
福島市住民基本台帳（各年12月末）より作成